

2022年7月27日
株式会社 唐沢農機サービス

唐沢農機サービス、ケニア共和国での田植えの機械化プロジェクト トでケニア西部にてデモンストレーションを実施

「すべての農機をネット通販に変える！」をミッションに掲げ、農業機械のマーケットプレイス「[ノウキナビ](#)」を運営する株式会社唐沢農機サービス（所在地：長野県東御市、代表取締役社長：唐澤 健之）と、株式会社商船三井（所在地：東京都港区、代表取締役社長：橋本 剛）が運営するKiiMOL株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：大山 幹雄）は日本製農機および日本の農業技術をアフリカのケニア共和国に輸出するプロジェクトにおいて、ケニア西部のアヘロ灌漑地区にてデモンストレーションを実施しましたのでお知らせいたします。



(KiiMOLスタッフが田植えの実演を行う様子)

▼ケニアの田植えはすべて「手作業」

ケニアの稲作は、稲刈り・精米などの工程で機械化が進みつつありますが、田植えにおいてはいまだに手作業です。田植えのための労働力の確保や人件費など、稲作の中でも特に手間と費用がかかる工程になっています。ケニアに限らずアフリカの人口は今後も増加傾向であり、2050年までに25億人程度まで増える見込みです。食料需給の観点からも農業の機械化ニーズは強いと言えるでしょう。

▼機械だけでなく「技術」も輸出

田植機を使った田植えには「苗箱に育苗された稲苗（とうびょう）」が必要になります。つまり、“育苗技術”がなければ、機械化は実現されません。

日本では様々な種類の育苗用の土が販売されていますが、ケニアでは箱苗に適した土は販売されていないため、土を作るところから始める必要があります。土づくりから播種後の水やりなどの管理を現地の状況に合わせて行うことで、前回に続き育苗を成功させることができ、日本の育苗技術がケニアでも通用することがわかりました。

▼田植え機の有効性

従来の手作業の場合、1acre（エーカー）の田植えを行うのに16人体制で約7時間かかりますが、今回のデモンストレーションでは田植え機3機を使い、それぞれ3人体制で技術指導も行いながら3時間で作業が完了し、約76%作業時間を削減することができました。ケニアでの田植え機の有効性は現地でも注目されており、実際に田植え機を使用した人や計31名のデモンストレーション参加者からは、歩きながら田植えができる使いやすさや性能の高さに感銘を受けたという声が聞かれました。

今後は、手作業で行った場合との成長具合・収穫量などの比較も行いながら、さらに田植え機の普及を促進していきます。



(左：種をまいた直後、中央：発芽した様子、右：12~13cmに成長した苗)



(左：KiliMOLスタッフが参加者に田植え機への苗の共有方法を説明している様子、右：田植え後の田んぼの様子)



(写真：日本から輸出した田植え機)



【株式会社唐沢農機サービスについて】

株式会社唐沢農機サービスでは、約3,800億円の農業機械市場のEC化（電子商取引）を促進することで農業機械や必要なサービスが誰でもインターネット上で購入・選択できる世界を創るため、「すべての農機をネット通販に変える！」というミッション達成に向け農業機械業界の新たな流通を生み出すことに挑戦している。

農業機械修理業を事業化し平成4年創業。農業機械の販売・修理・再生を主要事業とする一方、ウェブサイト制作、マーケティング、コンサルティングなどを行うインターネット事業を運営。また、全国300軒超の農業機械販売店が加盟し、累計取引額が18億円を超える農業機械のマーケットプレイス「ノウキナビ」を運営。農業×ITによる先駆的農業関連ビジネスを展開している。2021年2月には、八十二銀行、八十二キャピタル株式会社、群馬銀行、SMBCグループを始めとする複数の金融機関から、第三者割当増資、融資契約を含む1.9億円の資金調達を実施、企業成長速度をさらに加速している。

商号：株式会社唐沢農機サービス

代表取締役社長：唐澤 健之

本社住所：〒389-0502 長野県東御市鞍

掛846-1

事業内容：農業機械のマーケットプレイス“ノウキナビ”事業
対面での農業機械販売・修理・レンタル事業
ウェブサイト制作/ウェブコンサルティング事業



株式会社唐沢農機サービス公式サイト

：<https://www.karasawanouki.co.jp/>

農業機械のマーケットプレイス “ノウキナビ”

：<https://www.noukinavi.com/>

ウェブコンサルティング事業 “ビーズクリエイト”

：<https://www.bscre8.com/>

【株式会社商船三井について】

1884年設立の800隻を超える世界最大級の船隊を運航する総合海運企業。資源・エネルギー・原材料・製品など、さまざまな物資を輸送することで世界中の人々の暮らしや産業を支えている。また、フェリー事業、内航船事業、曳船事業、倉庫・海事コンサルタント業、不動産事業、客船事業なども展開している。



商号：株式会社商船三井

代表取締役社長：橋本 剛

本社住所：〒105-8688 東京都港区虎ノ門2丁目1番1号

事業内容：海運業・総合輸送業（資源輸送、エネルギー輸送、製品輸送等）

ウェブサイト：<https://www.mol.co.jp/>

【KiliMOL株式会社について】

商船三井が全額出資にて2021年5月に設立。越境ECサイト「kilimol.net」を活用した農機具の販売・輸送事業を運営。農機、農業技術、農業流通の仕組み導入により、アフリカの農業改革を支援し、食料事情の改善、農業振興に貢献することを目指す。



商号：KiliMOL株式会社

代表取締役社長：大山 幹雄

本社住所：〒105-8688 東京都港区虎ノ門2丁目1番1号

事業内容：越境ECサイトを活用した農機具の販売・輸送事業

ウェブサイト：<https://kilimol.net/>

【本件の問合せ先】

株式会社唐沢農機サービス

担当：PR広報グループ 都竹

電話：0268-62-5262 メールアドレス：pr@karasawanouki.co.jp